

令和２年度 学校関係者評価

1 学校関係者評価委員会（令和３年２月１５日（月）実施）

学校評価の結果及び改善案について提示し、それについて評価委員から御意見を頂いた。学校関係者評価委員の構成は以下のとおりである。

- ・学識経験者（１名）
 - ・社会教育団体関係者（１名）
 - ・同窓会関係者（１名）
 - ・保護者（１名）
- 計４名

2 委員からの意見

（１）学校評価（職員用）に対して

項目	意見
2－② 教員の実践力について	・若い教員や支援学校の経験のない教員への対応が大切になってくる。支援学校に置いては幅広い知識を身に付けて児童生徒に対応していくことが大切である。そのための研修の体制を、現在もあると思うが、さらに充実させるようにしてほしい。
3－① 大規模災害等、非常時について	・地震などの災害時について、子どもたちの安全を考えるのはもちろんだが、先生たちが先に倒れてしまうと、子どもたちは取り残されてしまうため、先生の安全についてもしっかり考えることは大切である。 ・先生方も自分の身を守る大切さを知るとともに、先生方が上の指示を待つだけではなく、自分で判断できるような姿勢を身に付けられるよう準備しておくことも必要だと思う。
5－① 居住地校学習について	・直接交流、間接交流どちらでもできるというように、保護者や本人が選べる選択肢を増やしてほしい。 （令和３年度は、間接交流を実施することになりました。状況が変われば、直接交流も検討していきます。）

（２）学校評価（保護者用）に対して

項目	意見
記名式について	・記名式にすることは必要である。なぜなら学校評価はあくまで改善案まで持っていくことが大切であり、そのためには意見をいただいた保護者や教職員と話し合っていくことも大切であると考ええる。保護者には直接会って説明することで、より良い改善案まで持っていくこともできるであろう。
少数意見について	・学校評価においては、「大体が良かった」ということに安心するのではなく、少数の意見を大切にしてほしい。そこに今後の学校運営上の大きなヒントがあるかもしれないと思う。 ・少数意見をよく聞くことは大切だと思う。

(3) 全体を通して・その他

項目	意見
コロナ禍の対応について	・行事等，次年度も変えなければならないことがあるはずである。柔軟に対応してほしい。 ・全ての関係者の苦勞で乗り切ってきたと思うが，新しい発見もあったはずである。プラスに捉えることによって新しい学校の形が見えてくることもあるように思う。 ・学校の努力で感染者が出なかったのは良かった。行事を減らすのは仕方がないことである。支援学校の児童生徒は体が弱い子もいるため，やはり安全を優先にすべきだと思う。
制服について	・（次年度より高等部に制服が導入されることについて）女子がズボンを選べたり，男子がスカートを選べたりすることは良いことだと思う。
退職金について	・先生方が退職金の計算を自分でやってみることは必要だし，事務室はその手伝いをしてほしい。

3 意見に対する対応

御意見を基に，改善に向けて前向きに取り組めます。